

例外 (try/catch 文)

```
try {  
    例外が発生しそうな処理 (1)  
} catch (例外クラス型 引数名) {  
    例外が発生した時の処理 (2)  
} finally {  
    最後に必ず実行される処理 (3)  
}
```

豆知識

使用するオブジェクトやメソッドがどんな例外を投げるかは、JavaAPI リファレンスに記述されています。
メソッドを使用するときなど、あらかじめ調べておくといよいでしょう。

```
public String readLine() throws IOException
```

IOException が
投げられているのがわかる

Java 言語における例外というのは、プログラムの誤りを通知し、適切な処理を行うための機構です。

つまり事前に実行時に起こりうる様々な状況を想定して、あらかじめ対処するプログラムを準備しておくという事になります。

例外処理の流れは次の通りです。

例外が発生しなかった場合

try ブロック (1) が実行された後、
finally ブロック (3) が実行されます。

例外が発生した場合

try ブロック (1) 内で例外が発生。
catch ブロック (2) が実行され、
finally ブロック (3) が実行されます。